



2017年 JAF全日本カート選手権 FS-125 東地域第1戦
 2017年 JAF地方カート選手権 東地域第1戦 / 2017年 JAFジュニアカート選手権 東地域第1戦

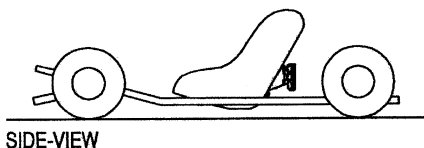


エンジン回転数計測器について

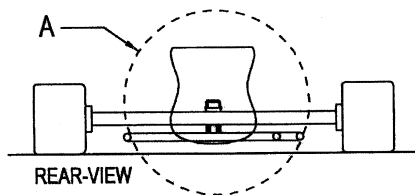
2017年全日本カート選手権統一規則 第21条 5. に基づき、OK/FS-125部門のエンジン回転数測定器の取り付けを義務付ける。取付方法は下記の通りとする。

1. ホルダーのシートへの装着：(OK用AMB測定器)

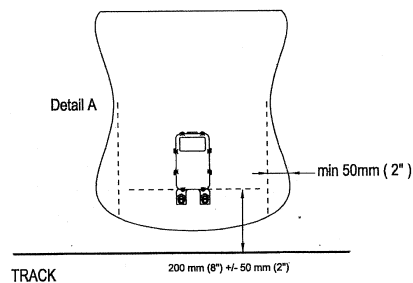
- 以下に従いホルダー装着箇所的位置を決める。
 ※ホルダー座面は、路面に対して垂直に近い角度とする。場合によってはスペーサー等を用いて角度を調整する。



※クロスメンバー等がホルダーの下方に位置すると電波が干渉して正確な測定が出来ない為、留意すること。



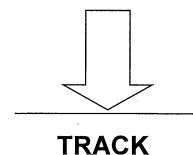
※ホルダー座面下部は、路面から200mm+/-50mmの高さとする。
 ※ホルダーは、シート中央を最良とするが左右どちらかに寄ることも可とする。



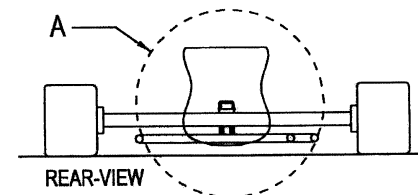
- ホルダーの装着箇所を決めてから、ホルダーの3つの穴に合わせてシートに3箇所穴(直径約5mm)を開け、ホルダーをシートに強固に装着する。

2. エンジン測定器のホルダーへの装着：

- 下図が表側に、また下図の矢印下方が路面となるように測定器をホルダーにタイラップコード2本で装着する。



※クロスメンバー等がホルダーの下方に位置すると電波が干渉して正確な測定が出来ない為、留意すること。



- 検知コード先端をプラグコードにタイラップコード2本で強固に取付。
 ※検知コードの取り回しに留意すること。取り回し状況によりタイラップコードを用いてコードの遊びを無くすこと。
 ※ビニールテープは使用しないこと。

3. エンジン測定器のホルダーへの装着：(FS-125用OPPAMA測定器)

- 表示面が表側となるように測定器をホルダーにタイラップコード2本で装着する。
 ※表示面のMODE部分およびSET部分を操作しないように留意すること。誤って操作した場合には必ず技術委員(長)に申し出ること。申し出がない場合、ペナルティが課される場合がある為留意すること。
- 検知コード先端をプラグコードにタイラップコード2本で強固に取付。
 ※検知コードとプラグコードは連続して約20mm接触させること。
 ※ビニールテープは使用しないこと。

